

## 十勝ごみ処理 広域計画の 推移と進捗状況

森田慎治議員

①十勝ごみ処理広域計画の進捗状況はどうなっているのか。

②同計画を先送りするならば、施設延命を図るために定期点検をはじめとした維持管理が一層重要と考えるので、これらを踏まえて取り組むべきではないか。

③ごみ分別の意識が衰退してきているのではないかと。原点到り再指導すべきではないか。

高薄町長

①十勝ごみ処理広域計画は平成12年度に計画ができてきたが、各市町村の焼却施設を平成28年度までに統廃合するとなっていたが、現在、具体的な検討は進んでいない。十勝環境複合事務組合では、現在、池田町で建設中の新一般廃棄物最終処分場完成後に検討を始めていくとしている。

②清掃センター施設を定期的に利用していくため、定期点検のありかたや補修の判断のしかたについて、計画を組みながら進めなければならない。

③分別の方法も定着化しており、最終処分場の残容量は町民の努力によって、あと6年程度だったところが2年ぐらい延びると考えている。ごみの分別については、昨年度から毎月広報でお知らせしているが、いろいろな方法を変えて工夫をしながら、更に呼びかけていく。

## 指定管理者制度 導入後の考え方

森田慎治議員

①指定管理者制度導入後、評価の診断・判断基準はどうなっているのか。評価基準に問題があり、制度本来の目的が十分にいかされないのではないかと。取り入れている町の評価マニュアルやモニタリング指針等を参考にすべきではないか。

②今の評価を踏まえて、他の施設にも同制度を取り入れる考えはあるのか。

③他の施設の同制度の取り組みについては、庁内で協議しており、公衆浴場や清水公園等があるが、施設1つだけで指定管理者として受け入れるところがあるのか、複数の施設で受け入れることができるのか等考えていきたい。

①指定管理者制度は、アイスアリーナと御影パークゴルフ場で導入し、NPO法人清水町アイスホッケー協会に依頼しているが、いずれも住民サービスに変わりはなく、更に柔軟な姿勢で行える利点もあり、経費も削減されている。

検証については、適切な維持管理、安定した運営状況、利用者の平等な利用の確保、柔軟な姿勢による利用時間帯の設定の4点で行っており、利



アイスホッケー協会によるアイスアリーナの管理は、利用者に好評

## 全国町村長大会に 参加しての 感想は

妻鳥公一議員

8月の衆議院選挙で政権が交代し、新政権になって初めての全国町村長大会に町長は出席された。また、大会終了後、中央陳情で各省庁に行き陳

情されたよつで、新政権になっていろいろ変化があったと思われる。町長の感想を伺う。

また、その変化が今後の町政にどう影響があるのか町長の考えを伺う。

高薄町長

政権が交代して初めての全国町村長大会は、極めて熱気のある大会だったが、全国町村会長の挨拶は大変厳しく、その後の数町村の意見発表においても、合併による財政の問題、住民の心の問題、三位一体改革の問題、道路問題、福祉の問題等、それぞれ苦渋の選択をしていると、町政運営をしているという厳しい意見が発表され、地方重視のなかで権限だけを移譲し、財政措置が行われないことにはならないとの考え方で進まなければならないと感じた。

陳情活動においては、体制ができて間もないという状況により余裕がなく、承るといふ対応が目立ったので、何も見えないため、今は示され

## 使用料等の 値上げの理由は

妻鳥公一議員

町民は、この十年来、増税や国保の値上げ、使用料等の値上げ、更にこの不況で収入は減り続けている。この時期に3年毎に公共料金の改正を行うという形式的で機械的な理由で値上げをされてはたまったものではない。町民のくらしが大変な時に、あえて使用料等の値上げをしなければならない理由を伺う。

高薄町長

財政が万全であれば使用料は抑えていく状況であるが、今の経済状況で使用料の財源を確保していかなければ、福祉等の面で投資ができず、交付税のみをあてにしていると基金にはまわらないことになる。内容においても機械的なものではなく、子どもを持つ親の平均的な収入を考えて保育料の